

脳脊髄液中のJCウイルス(JCV)の検査支援による 進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランス

研究分担者: 国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸
研究協力者: 同 中道一生

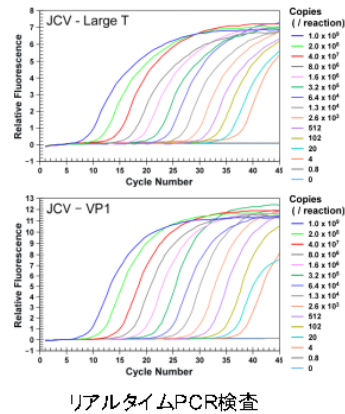
① 脳脊髄液のJCウイルスPCR検査によるPMLの実験室サーベイランス

医療機関からの
JCV検査の受付

JCVウイルス検査 検索

診断・治療の支援
患者情報の収集

サーベイランスデータの公開
Nakamichi et al.
BMC Neurology 2012;12:121

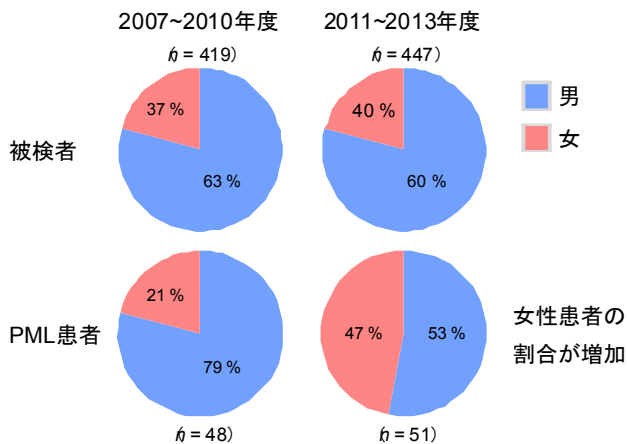


② 各年度の検査およびサーベイランスの実績

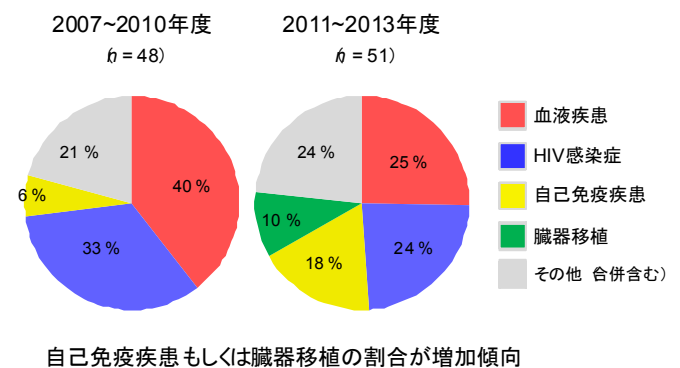
年度	検体数	陽性検体	被験者数	陽性者数	陽性率(%)
2007	85	13	72	11	15.3
2008	95	10	83	7	8.4
2009	144	24	125	18	14.4
2010	180	22	139	12	8.6
2011	177	37	141	19	13.5
2012	214	22	187	17	9.1
2013※	145	27	119	15	12.6
合計	1,040	155	866	99	11.4

※4月1日～12月31日現在 (9ヶ月間)

③ 被験者とPML患者の男女比



④ PML患者の基礎疾患の種類と割合



解 説

1. 全国の医療機関から進行性多巣性白質脳症(PML)の診断のための脳脊髄液中のJCウイルス遺伝子の検査を受け付けた。2007年4月1日から2013年12月31日現在までに1,040件の検査を実施し、99名が陽性を呈した。
2. 2007年からの4年間では血液疾患やHIV感染症を有する男性患者を中心として陽性者が見られたが、近年(2011年度以降)では女性患者の割合が増えており、また自己免疫疾患もしくは臓器移植歴を有する患者でのPMLが増加傾向にあることが明らかにされた。